

## 佐久市立国保浅間総合病院における介護療養病床の廃止について

佐久市立国保浅間総合病院

佐久市病院事業管理者 箕輪 隆

### 1 これまでの経緯と廃止理由

当院は昭和34年に開業し、平成12年に指定居宅介護支援事業所の開設の際、介護療養病床を8床設置しました。その後、平成15年には、40床に増床しております。

国の医療保険制度改革により、介護療養病床については令和6年3月末をもって廃止され、国は介護医療院への転換を推奨していることから、当院では令和5年4月から介護療養病床を休床し、介護医療院への転換を検討してまいりました。

しかしながら、当院の厳しい経営状況を鑑み、多額の改修費用や、近隣病院における介護医療院の開設計画等を総合的に勘案し、現時点での介護医療院の開設は見送る方針としました。

従いまして、当院の介護療養病床は、令和6年3月末をもって廃止いたします。

### 2 変更後に担う医療の内容

当院は、急性期と回復期の病床を有する二次救急医療機関としての機能を維持し、地域の三次救急医療を担う佐久医療センターの後方支援病院としての役割を果たしてまいります。

また、長野県地域医療構想で示された佐久地域の医療需要に適合した病床の機能や病床数の検討も行ってまいります。

### 浅間総合病院の機能別病床数の予定

| 年度    | 急性期病床 | 回復期病床 | 慢性期病床   | 合計病床数 |
|-------|-------|-------|---------|-------|
| 令和5年度 | 183床  | 55床   | (休床)40床 | 278床  |
| 令和6年度 | 183床  | 55床   | 0床      | 238床  |